

令和5年12月定例会 一般質問 中谷一輝議員

※代表質問・一般質問の会議録より抜粋し掲載しております。（各議員からの「質問」（問）に該当する部分を黄色マーキングしております。）

「空き家対策について」

○中谷一輝 皆さん、こんにちは。

議長のお許しをいただきましたので、日本維新の会、中谷一輝が一般質問をさせていただきます。

まず、大項目の1、空き家対策について質問いたします。

近年、人が居住していない空き家が増加傾向にあり、社会問題の一つとなっています。2018年の国土交通省が発表した空き家の現状と課題によると、全国で約848万戸、全体の13.6%が空き家状態になっています。この数字は、20年前と比較すると約1.5倍になっています。

しかし、一言で空き家といっても、人が住んでない状態になっている理由はいろいろ考えられることから、国土交通省によって4つに分類されています。二次的住宅、賃貸用の住宅、売却用の住宅、そのほかの住宅です。これらの種類の中でも現在問題になっている空き家とは、そのほかの住宅であります。国土交通省の調べによりますと、そのほかの住宅は全国に約348万戸あり、これは空き家全体の約41%を占めています。

空き家をそのままにしていると、様々なリスクがあります。例えば、住宅の老朽化が進み、崩れ落ちた部分が近隣建物や住民、通行人に当たってしまうおそれがあり、さらにそのまま放置し続けると特定空家と認定されます。そうなる前に対策が必要であると考えます。

9月議会において空き家対策に関する一般質問がありましたが、その後、10月に総務建設委員会の県外視察研修で広島県三原市に伺い、空き家対策について様々な事業、事例などについてお聞きしましたので、いま一度、空き家対策について現在の状況や今後の対策をお聞きしたいと思います。

中項目の①空き家の状況と今後の予測について、改めて確認も含め、香芝市の空き家の状況はどのようになっているのかをお伺いし、壇上からの質問を終わります。

○都市創造部長 本市の空家対策計画策定に伴いまして、平成28年度とその後の令和3年度に実態調査を実施しております。令和3年度調査では、空き家候補が597戸、そのうち特定空家の可能性があるものが1戸ございました。こちらの特定空家の可能性がある建物は、既に取り壊されております。

○中谷一輝 ありがとうございます。

じゃあ、これまでの空き家戸数は、香芝市でどのように推移してきたのか、教えていただけますでしょうか。

○都市創造部長 本市が実施した実態調査における空き家候補は、平成 28 年度で 614 戸、令和 3 年度は先ほど申し上げましたとおり 597 戸でございました。

○中谷一輝 それでは、香芝市としてこれからどのように空き家の戸数は推移していくと考えるのでしょうか。

○都市創造部長 平成 20 年から 5 年ごとの国の調査では、増減の傾向が明らかではありませんが、やはり将来的には増加するものと認識しております。最新のデータとして、国の調査が本年実施されていますので、その結果を踏まえての考察が必要であると考えております。

○中谷一輝 それでは、国のほうが調査してる、本年実施している国の住宅・土地統計調査っていうのは、集計とか公表はいつになるのでしょうか。

○都市創造部長 調査結果は、来年、令和 6 年 4 月以降、項目ごとに順次公表されると聞いております。空き家に係る項目は、来年夏頃に公表される見込みというふうに聞いております。

○中谷一輝 現在香芝市では特定空家はなくなったという答弁でしたけれども、今後空き家が増えていくことによって特定空家が認定されていくおそれもありますので、早めに対策していかなければならないんですけれども、香芝市としても今後は増えていこうという認識、展開だということが分かりましたので、空き家が増加する見通しということであれば、まだ使える空き家は市の施策の中でも利活用を推進していくことが重要であると考えております。

三原市では、あらゆる施策を通じて空き家に対する取組が進められていましたが、その中でも住宅市場に空き家を流通させる空き家バンクが活用されてきました。三原市と香芝市では、空き家の総数や地域の状況など大きく異なっていることは認識しているんですけれども、こうした取組を進めることも大切であると思います。

まず、香芝市における空き家バンクはどのような状況かをお聞きいたします。

○都市創造部長 令和元年度に空家等の対策に関する協定を締結した NPO 法人空き家コンシェルジュが運営する空き家バンクを無償にて活用しており、現在本市の掲載物件は 2 件でございます。この空き家バンクに関して、コンシェルジュの方には掲載希望や空き家の管理についてなど、毎年 15 から 20 件の程度のお問合せがあると聞いてございます。

○中谷一輝 私も香芝市のホームページを確認させていただきましたけれども、物件は 2 件のみでした。これを充実させるためには、いろいろ市民の方に周知等とかも必要だと思うんですけれども、充実させるためにどのような課題があるとお考えでしょうか。

○都市創造部長 おっしゃるとおり、空き家バンクに登録されている物件数が少ないことが大

きな課題の一つと考えております。空き家の所有者の中には、空き家に残っている家財道具の処理や修繕に手が回らず、その段階で流通を諦める方もおられます。そういったところがやはり問題点になってるのかなというふうに考えております。

○中谷一輝 住宅市場に流通させることにより利活用される可能性がある空き家もあると思いますので、この空き家バンクの周知に併せて、必要とされる情報の発信をしっかりと行うことが必要だと考えています。

また、空き家バンクの運営上の課題ってというのはどういうものがあるのでしょうか。

○都市創造部長 人員体制の確保やコスト面、個人情報を含む情報管理などが課題となっております。

○中谷一輝 空き家バンクを活性化するためのコスト面での課題や、他市の先行事例などでの課題などってというのはございますか。

○都市創造部長 県内他市の事例では、大和郡山市や天理市、御所市などで空き家バンクの運営管理やその他、特設サイトの管理、空き家相談会の開催などの業務を含めまして、年間を通じた業務委託をされております。大和郡山市では約 200 万円、天理市では 100 万円、御所市では 300 万円と聞いております。確認したところでは、活用件数が少ないことが課題であるというふうな声も聞いております。

○中谷一輝 その他市の実績等を見ましても、費用対効果ってという点でいろいろ課題があるのかなと。例えば、ホームページをコストをかけて充実させたとしても活用がうまくいかなければなかなか費用対効果っていうのは生まれませんし、そういった面でもどのように今後空き家バンクを運営していくのが望ましいと考えてるのか、お聞かせ願えますか。

○都市創造部長 費用を投じても活用件数が少なく、形骸化してしまう可能性がありますので、これからの空き家件数など、状況を鑑みながらよりよい対策を研究してまいりたいというふうに考えております。

○中谷一輝 この空き家バンクに関しては、研修先の三原市ではかなりの実績を残されていましたが、三原市の場合は、地域の環境が海もあって移住しやすいような環境でもあるってということがありますので、それを参考にとというのはなかなか難しいところではありますけれども、空き家バンクの充実にはほかの県内の他市も苦労されてるようですので、引き続き研究を進めていただいて、よりよく今後空き家が増え、特定空家と認定されるような事例が出てこないような形で進めていただきたいと思います。

空き家の今度、利活用として、空き家バンクなどの活用をして住宅として再利用もありますけれども、香芝市では広報紙にも掲載していました竹の杜というコミュニティー施設に生まれ変わった非常にいい事例もあります。こうしたコミュニティー施設などへの利活用について、

どのように今後展開されていくのかをお聞かせください。

○都市創造部長 竹の杜は、市の空家等対策推進支援事業を活用し、空き家を地域のコミュニティー施設に改修されたものでございます。空家等対策推進支援事業は国の補助金を活用し、平成 30 年度から本市においても事業を開始しており、これまで竹の杜を含めて2件の実績がございました。空家等対策計画にも示されているとおり、空き家の活用促進の一つとして今後も引き続いて事業を進めてまいりたいというふうに考えております。

○中谷一輝 竹の杜の事例なんですけれども、空き家の活用においては非常にいい事例であると思いますので、引き続いて事業推進を図っていただきたいと思います。

改めて、この事業の概要についてお伺いいたします。

○都市創造部長 空家等対策推進支援事業の利活用に関する補助金は、地域の交流やにぎわいを活性化させることを目的に、空き家の改修等に必要な経費に対して補助金を交付するものでございます。原則、改修工事に要した費用の3分の2、最大100万円を補助するものでございます。

○中谷一輝 今言われた地域の交流やにぎわいを活性化させることを目的にということですが、どのような施設が対象となるのでしょうか。

○都市創造部長 具体的には、滞在体験施設や交流施設、体験学習施設、文化施設が対象となります。

○中谷一輝 今日の午前中、河杉議員の代表質問でもありましたけれども、例えばこの空き家をフリースクールなどに活用することってというのは可能なのでしょうか。

○都市創造部長 事業の対象となるか否かにつきましては、あくまでも具体個別の判断が必要となりますが、一般にご質問のようなフリースクールは、地域の子供たちを対象とした施設であると思いますので、対象事業になり得ると考えております。

○中谷一輝 そうですね。フリースクールは、基本的に行政ではなくて民間の方がやってくれと思うんですけれども、このフリースクールの運営等について、開設や運営について支援することで、よりそういった事業者が参入しやすくなるというふうに思いますが、いかがでしょうか。

○教育部長 確かにそういったことをすれば運営はしやすくなるかと考えております。ただ、午前にも申しましたように、資格審査等がないことから、そういった部分、慎重に制度設計をしていかないといけないと思いますが、先行事例もございますので、しっかり研究してまいりたいと思います。

○中谷一輝 そうですね。ただ単に何でもかんでもいいわというふうな感じでフリースクールを始めていただいて、またそこで問題起こってもいけませんので、そういうことはしっかりと

基準を決めてやっていかないといけないと思うんですけども、最近でいうと、学校に行きにくい児童っていうのは、やはり無理に行かせることはない、無理に行かせなくてもいいというふうな方向で進んでいます。となると、こういった行き場がなくなってしまうと、孤立、完全孤立してしまいますので、今あるこの空き家っていうものを有効活用して、そういったフリースクールとかが増えていけばいいと考えていますので、またそういったことも今後検討のほう、よろしく願いいたします。

香芝市の空家等対策計画は、平成 30 年に策定されておりますけれども、5 年ほどが経過しています。法改正などもあり、当時から空き家を取り巻く環境が大きく変化している状況であります。

今後の対策を踏まえて計画を見直す予定っていうのはございますか。

○都市創造部長 ご質問のとおり、計画策定から 5 年が経過し、本年には法改正がされ、この 12 月 13 日に施行されますことから、現在計画の見直しに関する具体的な検討を進めているところでございます。

○中谷一輝 計画の策定となりますと、法定協議会である香芝市空家等対策推進協議会にて協議を進めることとなりますけれども、併せてこの協議会では空き家に関する様々な課題や取組について協議していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○都市創造部長 これまで、香芝市空家等対策推進協議会においては、香芝市空家等対策計画の策定時にその計画内容についてご審議いただいた経緯がございますが、次の協議会においては、開催時点での状況により、必要に応じまして課題や施策の推進などについても協議をしていただくことを検討してまいりたいと思っております。

○中谷一輝 香芝市の空家等対策推進協議会ですけれども、計画の策定のときに開いたと。これっていうのは、ほかに開くことっていうのは、特定空家の認定のときとかですね。これは、年間何回とか決まった回数っていうのは、開催回数っていうのはあるんですか。

○都市創造部長 決まった回数はございません。

○中谷一輝 では、特定空家のときであったり、計画のときだけではなく、こういった今後の空き家が増えていくという状況ですので、そういった課題等も協議していただきたいと思えます。

では、空き家のほうの最後に、9 月議会の一般質問でもありましたけど、空き家で困っている方のためにしっかりと周知していただきたいと考えていますけれども、いかがでしょうか。

○都市創造部長 9 月議会の一般質問でもそういった周知の方法について質問がございました。そういったことも考え、ご自身所有の空き家の管理に困っている方のほか、空き家に対する連絡や苦情の中でも近隣の空き家に対するお困り事をいただいて対応を進めているケースが多く

ございます。相談先や法制度などについて必要な情報を入手できるよう、ホームページ等で周知することなどを検討してまいります。

○中谷一輝 空き家には様々なリスクがあり、また特定空家として認定されてしまうおそれがあります。香芝市としても、今後空き家は増加すると考えられていますので、しっかりと対策のほう、よろしく願いいたします。

「個人情報保護に対する意識改革について」

○中谷一輝 続きまして、大項目の2、個人情報保護に対する意識改革についての質問に移ります。

個人の権利を保護して情報を適切に活用するため、個人情報の取扱いには細心の注意を払わなければならないのは言うまでもありません。個人情報保護法では、個人情報を扱う者に対して義務や違反した場合の罰則を定めています。このことは、職員の皆さんは十分理解してると思いますが、しかしここ数年、頻繁に個人情報を漏えいする事件が発生しています。そのたびに個人情報の取扱いについて、再度周知徹底し、再発防止に取り組むと言っていますが、確認不足等の少し注意すれば防げるものが多々見られます。職員一人一人の意識の問題だと感じております。

そこでまず、中項目の①個人情報漏えい等についてですが、過去年度ごとに個人情報漏えい事件が発生した件数を教えてください。

○企画部長 過去の漏えい事案といたしましては、平成28年度に1件、令和2年度に1件、令和3年度に2件、令和4年度に4件、令和5年度に7件となっております。

○中谷一輝 これ年々増加しておりますよね。今年度なんですけれども、7件ということで、11月末現在でも昨年より倍になっていると。令和5年度、じゃあこれ令和5年度において部局ごとの内訳を教えてください。

○企画部長 健康部で3件、市民環境部で2件、福祉部で1件、総務部で1件でございます。

○中谷一輝 複数あるということですが、健康部3件、市民環境部2件ということで、健康部と市民環境部が複数ありますので、それぞれどのような内容で、原因はどこにあったかと考えておられるのか、お聞かせください。

○健康部長 健康部におけます個人情報の漏えいにつきましては、今年度3件、それぞれ異なる課で発生しております。

漏えい事案の内容につきましては、証、または書類を誤って交付したものであり、第三者の氏名、住所、生年月日などの個人情報が漏えいしたものでございます。原因としましては、職

員の確認が十分でなかったことが原因であるヒューマンエラーによるものであると考えております。

○市民環境部長 市民環境部の2件についてお答えします。

1件につきましては、11月に発覚いたしました廃棄物対策課の事案でございますが、ごみの自己搬入を行ってもらう際に、美濃園に提出するために使用する搬入指示証明書、同内容の書類2枚を交付するわけですが、そのうち組合控え分の1枚が別人の申請者情報となっているというご指摘がございまして発覚した事案でございます。原因といたしましては、書類を発行するシステムの操作手順不備、また交付時の書類全てのチェックができていなかったところが原因と考えてございます。

もう一件につきましては、9月に発覚しました市民課の事案でございます。マイナンバーカード交付時に市民に郵送しております引換え用の交付はがきと共に持参されました交付はがき紛失時に必要とする申請書の様式について、その方の場合、はがきを持参されておりますので、使用する必要のない様式であったことから、職員が未記入と勘違いし、また再使用、再利用する目的で次の送付用に使い回したが、その様式に手書きで個人情報が書き込まれており、別の方に送付してしまったという事案でございます。原因といたしましては、何も記入されていないかの確認が不十分であったことが一番の原因と考えておりますが、また1度送付している様式を再利用したことも要因と考えてございまして、再利用については取りやめることといたしております。

両事案とも誠に申し訳ございませんでした。

○中谷一輝 これ1回目、複数あるところ、2つの部局に聞いているんですけども、1回目のインシデントがあった後、再発防止策をホームページ等で公表しています。再度、部内で再発しているんですね、これ。そのことについてどのようにお考えなのか。また、1回目が発生しました、注意する、2回目が発生しました、どういうふうな注意に変わったのかとか、そういうこともお聞かせ願えますか。

○健康部長 再三にわたって起こっておりますので、再発防止に向けた取組の効果が出ていないということにつきましては、弁解の余地はないものでございますが、事案が発生した際にはスピード感を持って対応に当たってまいりました。再発を防止するために原因を速やかに突き止め、有効な対策を講じるとともに、同時に同部内の中で速やかに情報共有を図りまして、他の課においても再発の防止に向けた啓発にも努めてきたわけではございますが、再度確認不足、チェック体制の不備によりまして相次いで誤交付の事案が発生したことにつきまして、誠に申し訳ございませんでした。

今後におきましても、やはりミスが発生させないための対策、仕組みづくりを併せてしっか

りと準備する、定期的にチェックすること、また見直すことということが大切であると感じております。今後も引き続き鋭意努めてまいりたいと考えております。改めて、おわび申し上げます。すいませんでした。

○市民環境部長 まず、その都度、どんな注意喚起を行ってきたのかっていうところから申しますと、他部署、もちろん本市民環境部の事例以外でも、過去の他の部署、そういったものも含めた事例も踏まえて、随時そういう事例が発生都度、始業時の朝礼や窓口交付時の書類チェック、発送時の内容物のチェックの徹底、こういうことを随時注意喚起を行ってきたところでございます。結果としてできていなかったところであり、申し訳ございません。

あと、再度、部内でも発生しているということについてどう考えているかというお尋ねでございますけれども、結果的に誤交付があったことでございますので、各職員の意識レベルが低かったと考えてございまして、さらに意識レベルを引き上げる必要性があると考えているところでございます。

○中谷一輝 私もその職員の一人一人がすごくこうわざとでもないだろうし、個人情報というのはすごく大変だということはすごく認識してると思っております。しかし、ここ最近、今年度に限ってでいうと異常なぐらい多いんで、もうこれ言うしかないという形で、これ一般質問でさせていただいてるんですけどもね。

職員も、それはわざとじゃないというのは分かりますけれども、例えば1回目が発生したときに全庁で二重チェックをかけるのかというふうな対策もされていたと思うんですけども、じゃあこれ二重チェック、2人共見逃したんかっていうふうな形になってしまうんですね。じゃあ、この二重チェックはしっかりされていたのか。また、そのほかの原因として、職員の仕事量の問題もあるんじゃないかなというふうなこともちょっと考えてるんですけども、例えば窓口業務でしたら、すごく混雑時に対して全員が一人一人対応してるってなると、これ二重チェックできないですよ。そのときっていうのは、どういうふうにチェックされているのか、ちょっとお聞かせ願えますか。

○健康部長 健康部におきましては、やはり証の交付であるものにつきましても同一のものだけではなくて、やはり複数の業務にわたってまいりますので、チェックについてはかなり複雑になってくるわけでございますが、日頃から、以前からなんですけども、ダブルチェックっていうところはきちり徹底してきてたつもりだったわけですが、やはりそのチェックの仕方に、確認が不備があったといったところもございましたので、作業工程の中で全てどういうフローで行ってきたのかっていうことを洗い出しまして、どの段階で起こった問題なのかというところを見直しをかけたりといったようなことを行ってまいりました。

○市民環境部長 市民課の事例で申し上げますと、もちろんおっしゃるように曜日とか時間帯

によって仕事量の負荷というのは濃淡ございます。窓口混雑時などにおいては、各職員、お客さんを待たせてはいけないということで急ぐ気持ちもあるかと思えますけれども、そういった場合でも交付書類等の確認の徹底を念頭にするよう伝えておるところでございます。

通常の時間中で申しますと、みんなが業務してる場合どうやるんですかと確認というご質問だと思いますけれども、一担当者の業務作業中に他の職員からそういう書類の確認を求められたり、質問事項の問合せ等は随時入ってまいりますので、注意がそがれる、確かに環境下等も考えてございますが、そういうことについても十分に気をつけるよう伝えているところでございます。

○中谷一輝 今複数起きた部署に対して質問させてもらいましたけれども、ほかの部署もこれ一緒なんで、皆さん、本当に今の現状が異常だということで理解して聞いていただきたいと思えます。

このようなインシデントが続いている中で、じゃあ香芝市として全体的に職員に対してどのような注意喚起を行ってきたんでしょうか。

○企画部長 インシデントが発生するたびに緊急の部長会を招集したり、月例部長会合において市長、副市長から厳しく指導がございました。

各所管において、再発防止のため複数人によるチェックを徹底することやデータ入力時の体制見直しというようなことも対応策として提案いたしております。これらとは別に、個人情報漏えいの防止についてなど掲示をしっかりといたしまして、全職員がインシデントの発生を受けて、再発防止を認識できるような取組をしてまいりました。

○中谷一輝 そのようにやってきたにもかかわらず、何も改善されていませんよね。逆に、悪化してるような感じになっています。これは、全く職員に対して響いてないんじゃないかなと感じています。

今までのやり方が全て間違っていたとは思わないんですけども、結果が出ていません。今後どのように対応していくのか。どのようにこういった個人情報の漏えいをなくすのかをお聞かせください。

○企画部長 個人情報の取扱いにつきましては、大きなリスクであると認識し、リスクを抑え、緊張感を持って業務に取り組む必要があります。管理職から課員、さらには委託先に至るまで意識の浸透を図ることが最も重要であると考えております。一人一人がそういったリスクを意識して、結果として組織全体のリスク管理につながるというような、そういう取組をしっかりと進めてまいりたいと考えております。

○中谷一輝 具体的な取組ってというのはどうするんですか。

○企画部長 本市におきましては、例年情報セキュリティー、個人情報保護などの 11 コース

の研修を実施し、ほとんどの職員が受講しております。9月には個人情報保護に関する研修を実施いたしました。加えて、先月11月をコンプライアンス推進月間と題し、各課にはコンプライアンスチェックシート配布して自己点検を行っております。また、管理職級にはコンプライアンス研修を実施し、意識改革を徹底させていただきました。

今後は、デジタル技術を用いてヒューマンエラーを少しでも減らす取組、また業務負担に鑑み、職員の適正配置などにも具体的に対応してまいりたいというふうに考えております。

○中谷一輝 いろいろこう研修等あると思うんですけども、職員一人一人がただ単にその研修を受けるとか、そういうふうな形じゃあ何の結果も出ないと思うんですね。本当にこれ一人一人が個人情報を漏らしたらどんだけ大変かっていうことをしっかりと認識してもらわないと、なかなかこれはなくなっていかないと思います。

例えば、個人情報、今回の今までこの事例でいいますと、気づいた人が親切に間違ってますよと言って大きなことになってきてませんけれども、悪用されることもあるんですね、個人情報はやっぱり。それが、例えば一般企業であれば、その企業自体が大打撃を受けますし、特に社員とかもかなりの大きなペナルティーを与えられるはずなんです。そういったことも踏まえて、この個人情報の取扱いというのは、すごく慎重にしていきたいと思います。

今回、教育委員会のほうは、なかなか情報ってなかったんですけども、教育委員会も同じなんで、やはりたくさん個人情報を取り扱っていますんで、その辺、教育長にお伺いしたいんですけども、今回香芝市で起きてるこの件数は、僕はもうすごく異常だと感じてるんですね。それは、教育長はどう感じておられるのか。また、今後どのようにされるのかをお聞かせください。

○教育長 今おっしゃられましたように、教育委員会は多数の個人情報を扱っております。それがゆえに、庁舎内であったことを十分こう把握しながら、そして各課員に、課長会へ下ろしております。そして、今後とも徹底して漏えいが起こらないようにやっていきたいと思っております。

○中谷一輝 本当にこれしっかりとお願いします。

これは、副市長にもお聞きします。この異常さは、どう感じておられるのか。今後、どうしていくのかをお聞かせください。

○副市長 11月のコンプライアンス月間にもかかわらず、個人情報漏えい案件が発生いたしましたことにつきましては、市民の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこと、また議員各位にはご心配をおかけいたしましたこと、誠に申し訳なく思っております。

本市としては、事案が発生するたびに職員には注意及び指導いたしておりましたが、事案が続きましたことについて、危機的な状況であると認識しております。改めまして、指導等を行

ったところでございます。

○中谷一輝 じゃあ、最後に市長にもお伺いいたします。

僕も前職ときに個人情報取り扱ってたんですけれども、これパソコンの中に入ってるんで、そのパソコン紛失したとなると、その情報を一件一件全部回って謝罪しながら行く、そして罰則もあったんですね。それをやると、1か月、2か月仕事ができないっていう状況になるような事案になってしまうんです。それほど個人情報というのは本当に大切に、しっかりと厳重に細心の注意を払って取り扱わないといけないと思うんですけれども、この今の現状をどうお考えで、今後どうしていくかをお聞かせください。

○市長 先ほど企画部長からもお話をさせていただいたとおり、まず部長会であったり、緊急の部長会などを開いて、個人情報がいかに大切かというふうなことは、毎回私ないし副市長のほうからお話をさせていただいております。また、インシデントが起こった課、説明に来たときにどういったことが起こっているのか、そこに問題がどうあるのかということは、当然一緒になって話、解決方法を考えていって、こうしたほうがいいんじゃないか、省ける部分は省いていって、個人情報の漏えい自体を防げる方法を一緒に考えてお話をさせていただいてるところでございます。さらに、全ての職員に対しまして、私のほうから毎月メールを送ってるんですけども、その職員に対してもミスが起こったらどのようなことになるのか、ミスを防ぐ方法は何かないのか、分かりやすい具体例などを、そういったことを交えて、考えさせるようなことで提案をさせていただいております。

さらに、今回委託業者ということでした。委託業者は、直接私から話すことはできませんので、委託業者の上司に来ていただき、その中で、先ほど中谷議員がおっしゃったみたいに、たまたまこの情報が第三者によって悪用されなかった、私たちの持つ情報は犯罪に使われる可能性がある、たまたま犯罪に使われてなかっただけなんだということを認識していただきたい。さらには、私たちカウンターにいる人たちはみんな公務員と思われてるんだと、一緒に仕事をしていく上で、必ず私たち連帯して責任を取っていくんだ、そういった思いのことを伝えさせていただきました。

全て私たち、どこかの課、どこかの課、先ほど中谷議員からいろいろお伺いしましたが、どこかの課だけということではなく、香芝市全体として謝っていかなければならないことだと思っております。このたび個人情報の漏えい等があったことに対しまして謝罪いたします。

よろしいでしょうか。本当に申し訳ございませんでした。

○中谷一輝 人間ですんでミスはあるということですけども、こと個人情報に限っては、それは思わないでいただきたいと思います。それほど重大な、一人一人が持っている個人情報は、それは個人の権利でありますんで、その辺、市長、副市長、教育長、そして全職員の方が再度

認識していただき、再発防止に取り組んでいただきますよう強く意見いたしまして、私の一般質問を終わらせていただきます。ありがとうございました。